

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 28 2011.4.5 19:40 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren. gr. jp

～被曝した方々に医療者としてどう向き合うか～

全日本民医連顧問 肥田先生のお話 HPにアップしました

福島原発事故により、大勢の方が他県に避難されています。最寄りの民医連事業所を受診されることもしばしばです。被曝された方々に適切に対応し、健康管理をしていかななくてはなりません。

長く被曝医療に携わってこられた、全日本民医連顧問／肥田舜太郎先生にお話しを聞きました。全日本民医連HP(東日本大震災動画ニュース) にアップしています。ぜひご覧下さい。

<http://www.min-iren.gr.jp/html/menu8/index.html>

【内容】①どのような心構えで福島の人と向き合うのか

②原爆症の人たちとどのように接したか

③被爆者への差別について

支援者組織にあたってのお願い

4月以降のあらたなステージに対応した支援組織にあたってお願いです。

支援ニュース NO.27 でお示ししている支援者要請数は、1日の最低必要数です。実働人数として確保する必要がありますので、移動日の関係で空白が生まれないよう各地協での調整をよろしくお願いします。

なお、坂センターに向かう皆さんは、基本的に支援開始日(出発日)は夕方に坂病院に到着できるようにしてください。到着後、被災地視察を行っています。その後、支援者会議(医師:18:00～、医師以外17:30～、毎日開催)に参加していただき、支援を開始されると状況が理解出来て良いと思います。

☆全日本民医連支援者定期便 4月30日まで毎日運行します。ご利用下さい(全日本民医連9:00発)

☆支援ニュースNO.27に添付した「支援者予定表4/3改訂版」は全職種共通です。今後はこの様式をご利用下さい。

(再度添付します)。

支援者のみなさんへ

4/2の緊急理事会もふまえ、4/3付で、被災地の状況と今後の活動方向をまとめた「民医連の支援者のみなさんへ」が会長名で出されています。資料「援助する人のセルフケア」(「災害と心のケアハンドブック(発行:アスクヒューマンケア)」より抜粋)とあわせて、震災対策本部から各県連・四役・理事・のみなさんにお送りしています。ぜひご活用ください。

◇本日の朝日新聞社説「避難所を出る－健康と復興のために－」をご紹介します。坂病院の取材がもとになっています。(添付ファイルをご覧ください)

支援者到達(5日現在):1,519人(医師266、薬剤師92、看護師446、技術系236、事務他479)本日の支援者数は182人(移動含む)!延べ数は6,783人となりました!
支援募金到達:9,700万円を超えました!

◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。